

令和4年度公開考古学講座「三重を掘る」第3回

Let's cooking?
縄文時代の調理事情

三重県埋蔵文化財センター
小濱 学（こはま, まなぶ）

はじめに

発掘調査で確認された、炉穴や石でつくられた炉、出土した土器・石器・木の実などから、当時の人々の調理や食料を得る方法といった縄文時代（主に早期）の調理事情を解説します。

- 1 本当に石器は使えたのか？
- 2 炉穴や石でつくられた炉の使われ方は？
- 3 生活に必要なものを得るには？

縄文時代（今から約12,000年前から約2,000年前の期間、草創期・早期・前期・中期・後期・晩期に区分）⇒研究や技術が進み、期間は年代測定の結果から約16,000年前から約3,000年前と変わってきています。

1 本当に石器は使えたのか？-1

動画「石器を包丁代わりに使ってみた」を視聴します。

石器を作るには、石器にむいた岩石（材料）を入手します。（所要時間：2日程度以上、ネット購入で2日程度）

まず岩石を割り、薄く、小さくしていきます。そして、刃をつけていきます。それを、現代の道具で作りました。（所要時間：約1時間以上、ハンマー等で約10分）

石器を包丁代わりに使ってみました。トリニクを切ってみました。（所要時間：約15分以上、包丁なら約1分）

トリニクやタマネギを煮込みます。（所要時間：約1時間以上、電気調理器で約10分）

【注意】今回の体験からの試算です。答えは縄文人しか知りません。

1 本当に石器は使えたのか？-2

実際に石器を使ってみて

包丁を使い慣れた現代人にとっては、使い心地は今一つと感じました。

細やかな作業は難しいと思いました。

動物の皮を剥ぐ、木の皮を剥ぐ、肉を解体する、ぶつ切りにするといったことなら十分に使えると思います。

縄文時代の人々（以下、縄文人）にとっては、これで十分なのでしょう。

石器の種類⇒尖頭器・石鏃・石匙・削器・打製石器・磨製石斧・敲石・磨石・石皿・石錘等

1 本当に石器は使えたのか？-3

発掘調査で出土した縄文時代の石器について考えます。



草創期・早期の遺跡群

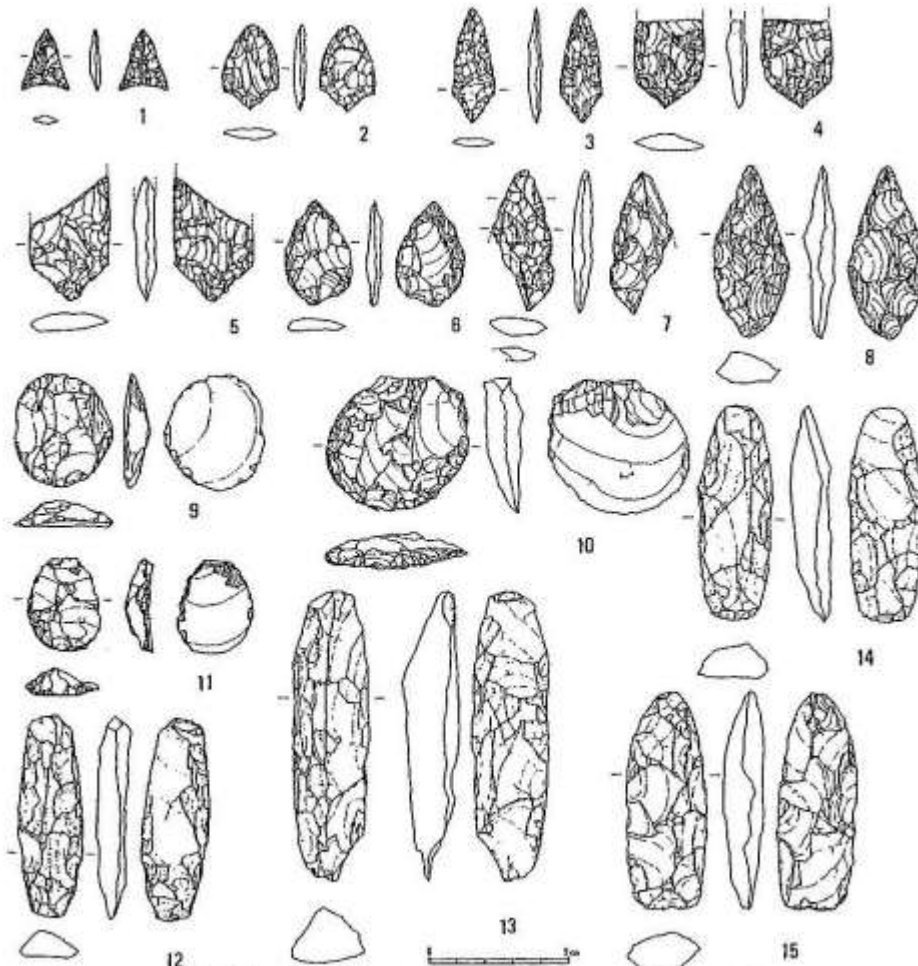
前期・中期の遺跡群

後期・晩期の遺跡群

1 本当に石器は使えたのか？-4

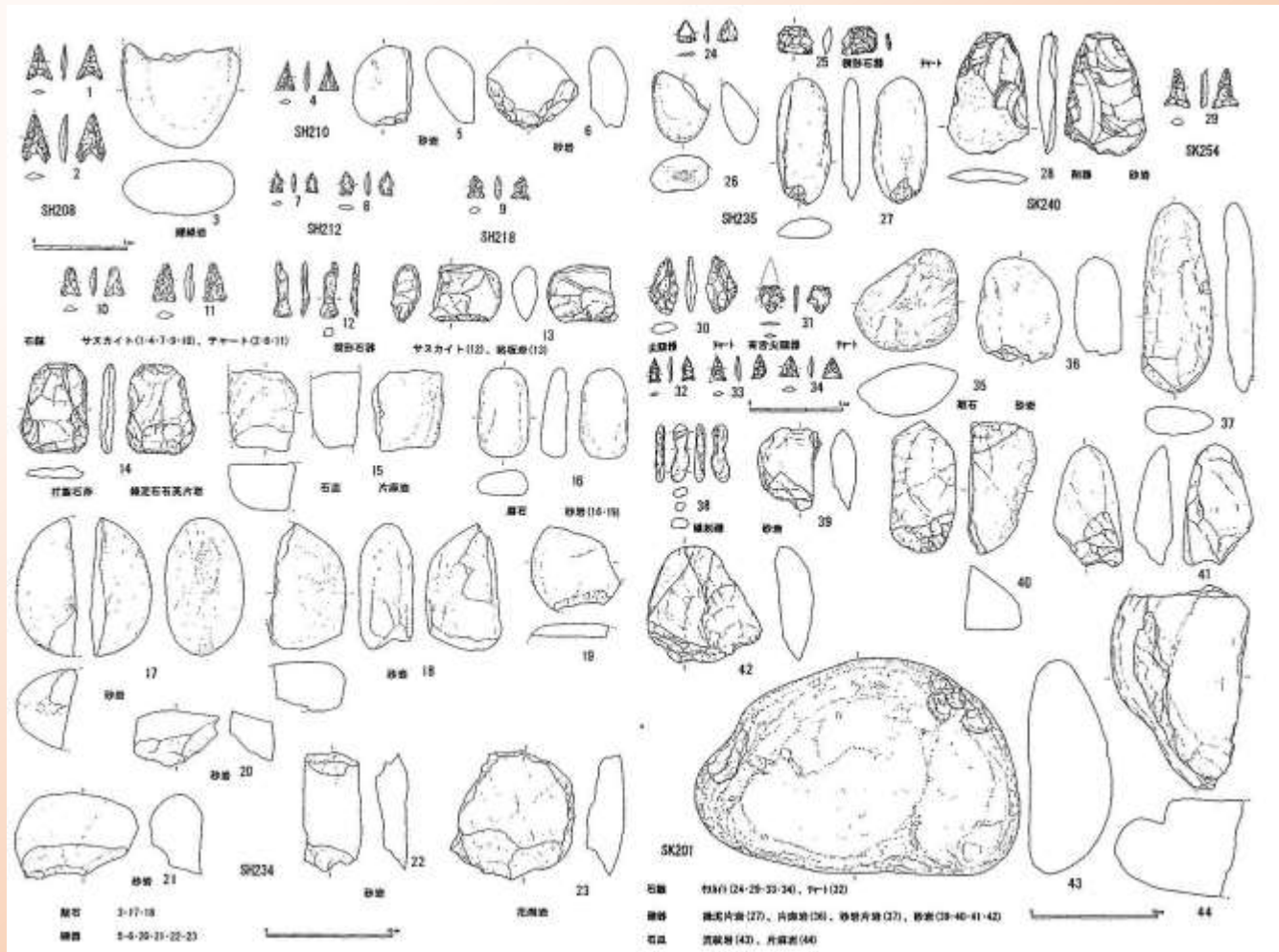
各時期の石器を発掘調査の成果からみていきます。

多気町高皿遺跡
出土石器
(草創期)



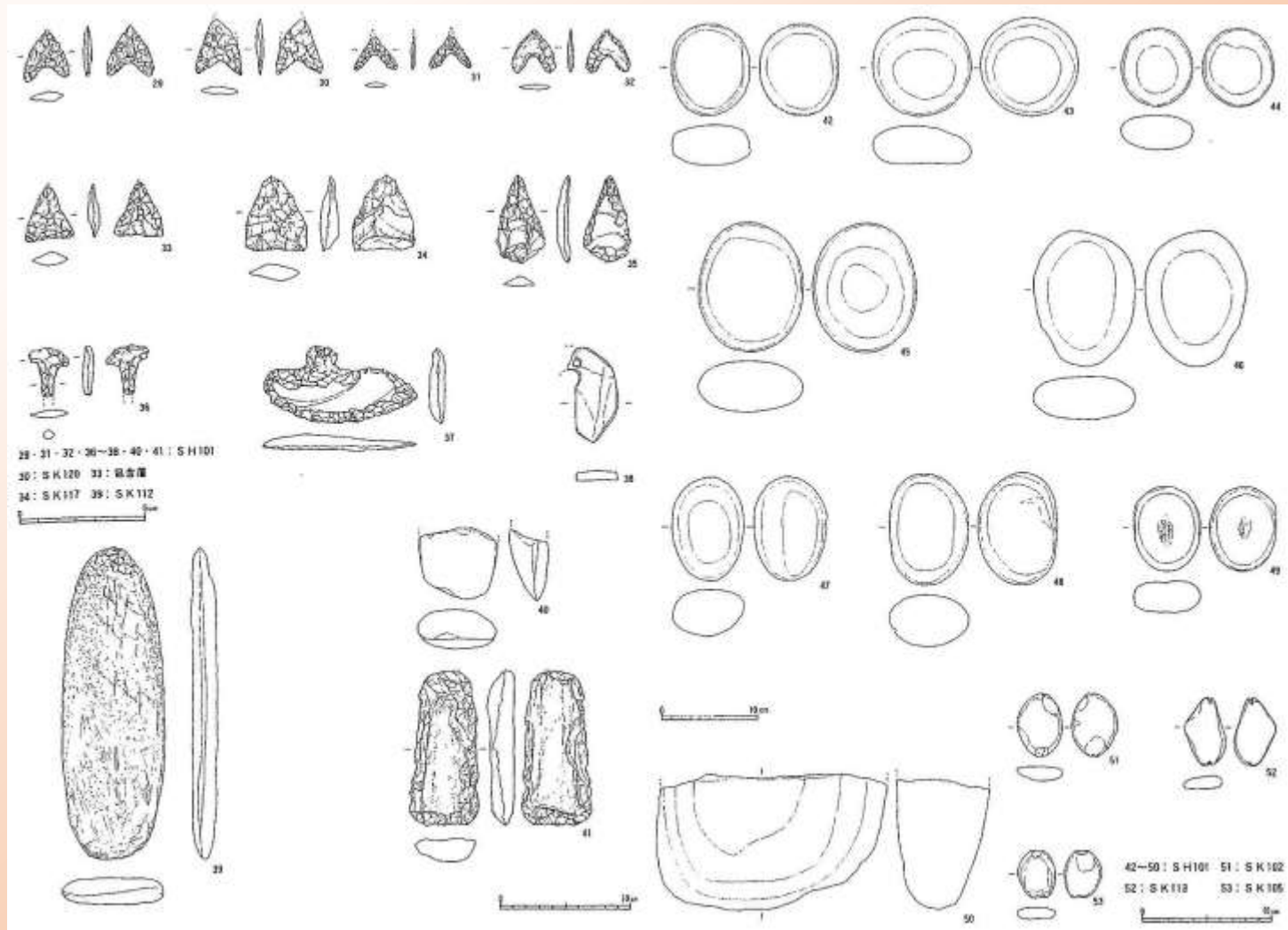
1. 石鏃 2～7. 有舌尖頭器 8. 尖頭器 9～11. スクレーパー 12～15. 神子袋系石斧
1～8・10・11. チャート 9. サヌカイト 12～15. 輝緑岩

1 本当に石器は使えたのか？-5



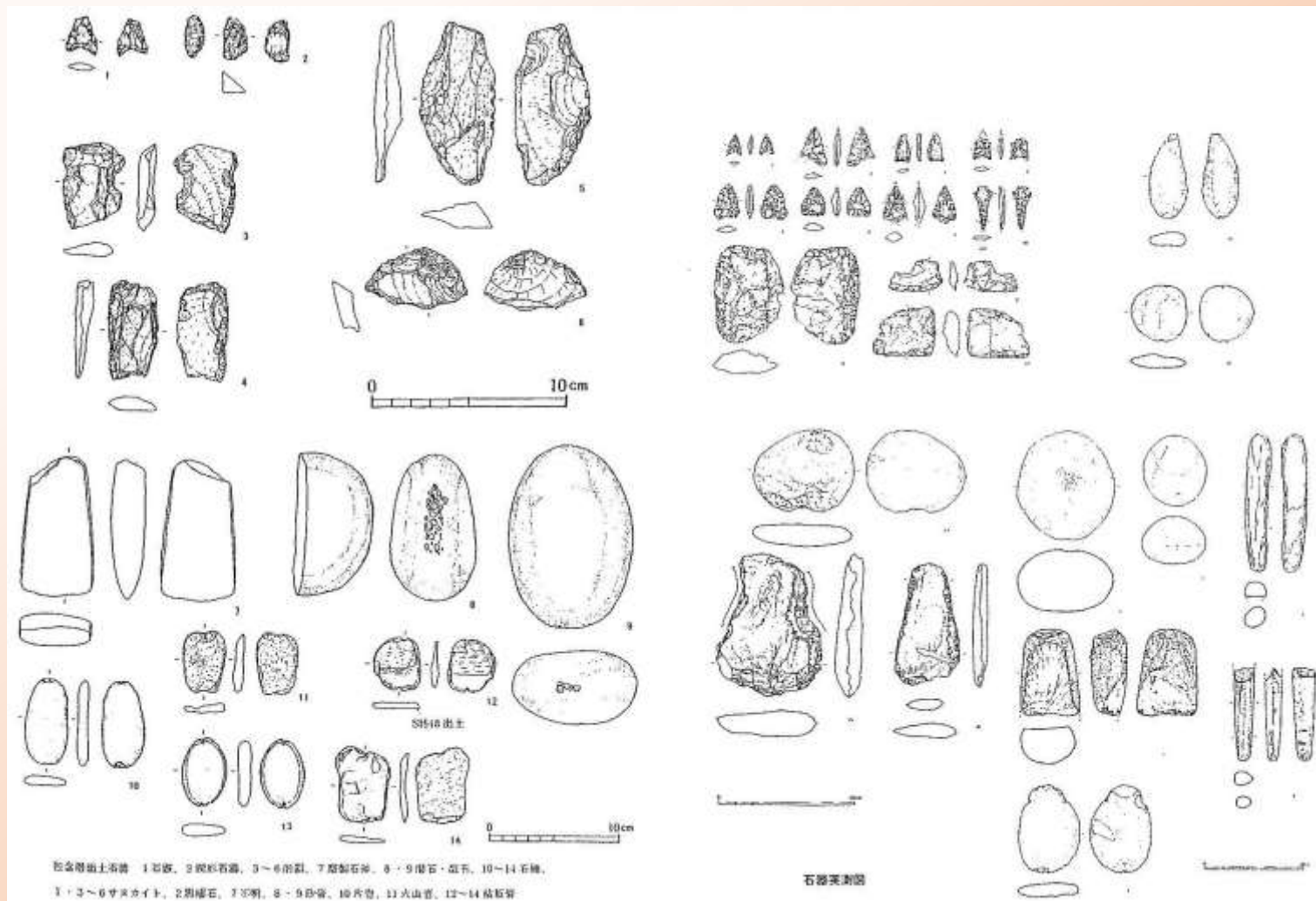
松阪市鴻ノ木遺跡出土石器（早期）

1 本本当に石器は使えたのか？-6



松阪市山添遺跡出土石器（前期）

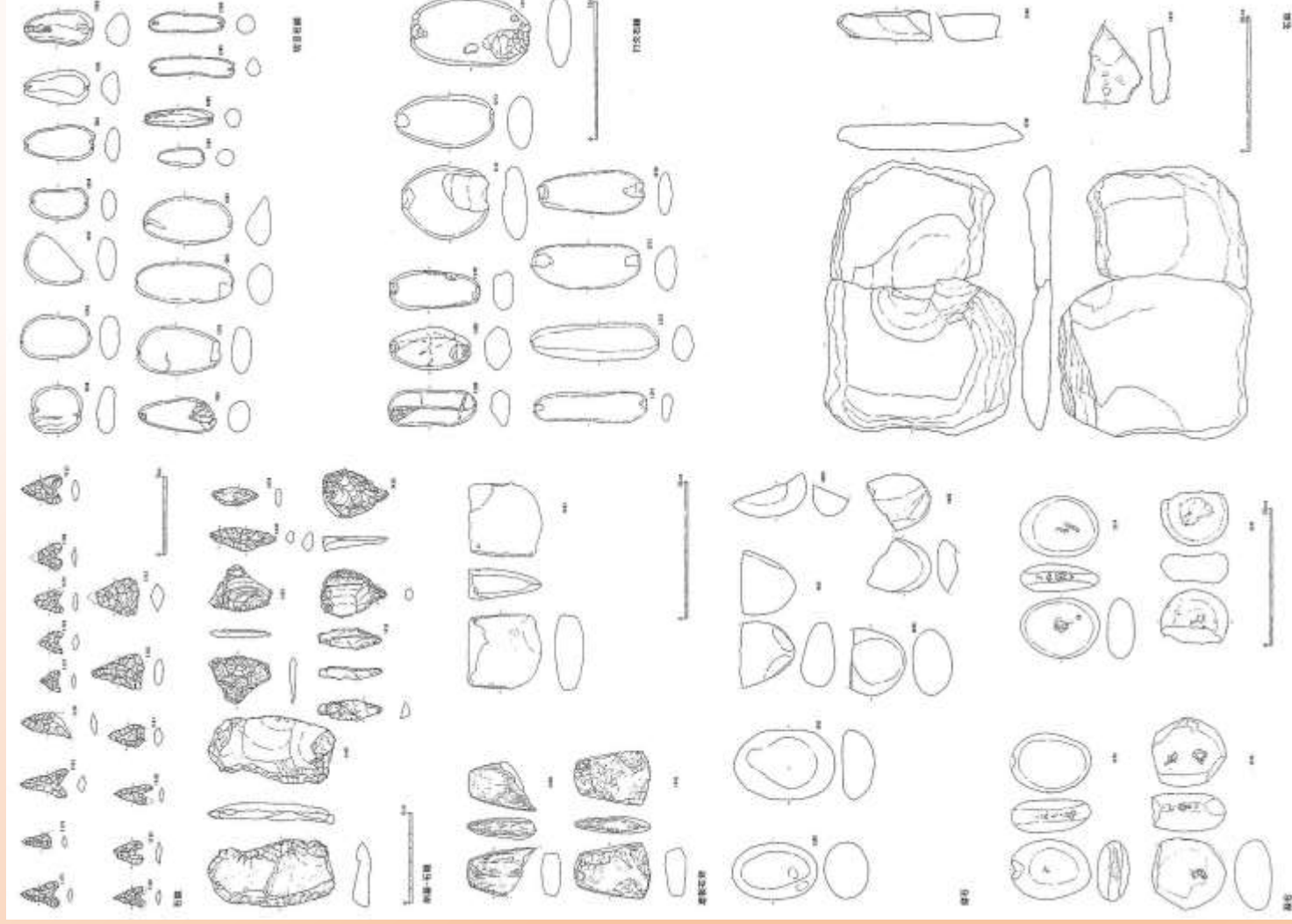
1 本当に石器は使えたのか？-7



津市大石遺跡出土石器
(中期)

多気町片野殿垣内遺跡
出土石器 (晩期)

1 本本当に石器は使えたのか？-8



多気町新徳寺遺跡出土石器（後期）

ここまでの図は、小濱学2005「縄文時代における伊勢湾
西岸域の石器組成から見た社会構造」『関西縄文論集
2』を引用

1 本当に石器は使えたのか？-9

現代人から見て

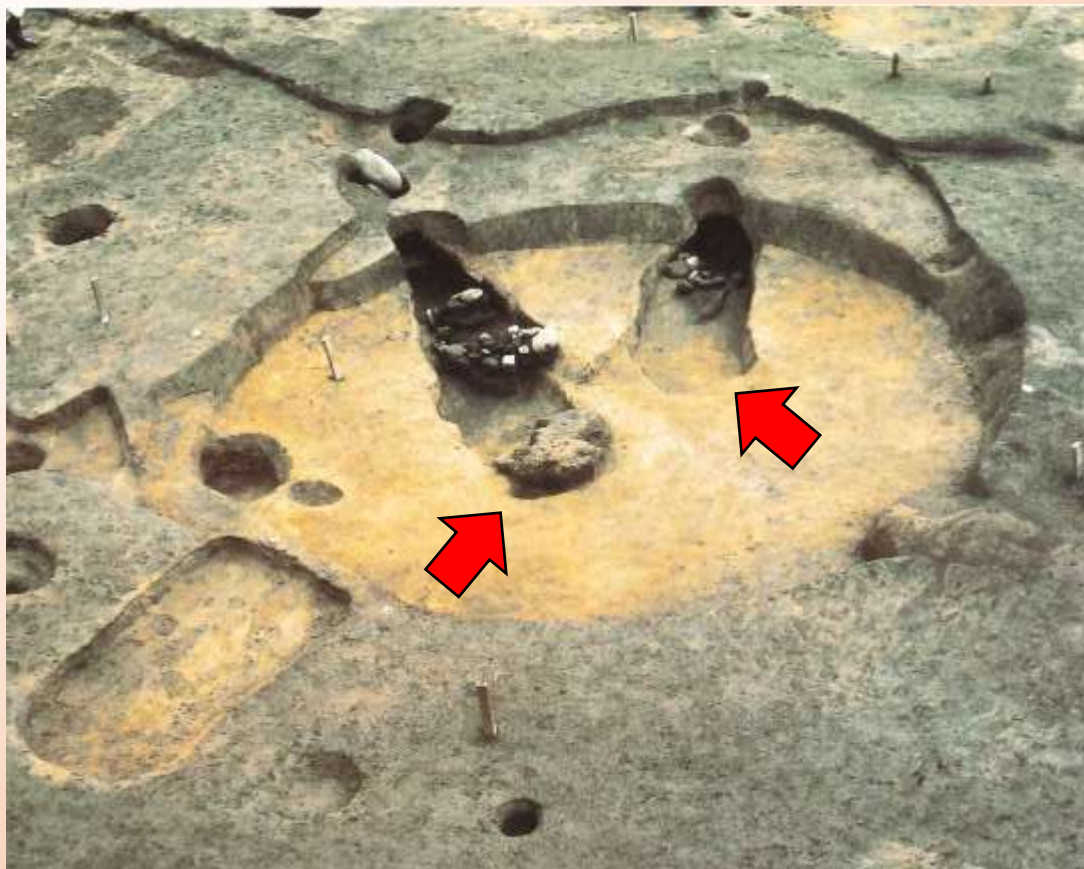
石器はまあまあ使える！

現代の包丁の使いやすさには負けます。人間が進化したということでしょう。

縄文人は当時、それぞれの生活している地域の自然環境等にあわせて、石器を作っていたのではないのでしょうか。地球上で気候変動があった時代でしたので、必要だったのでしょうか。

2 炉穴や石でつくられた炉の使われ方は？-1

縄文時代には、調理の施設と考えられるものがあります。

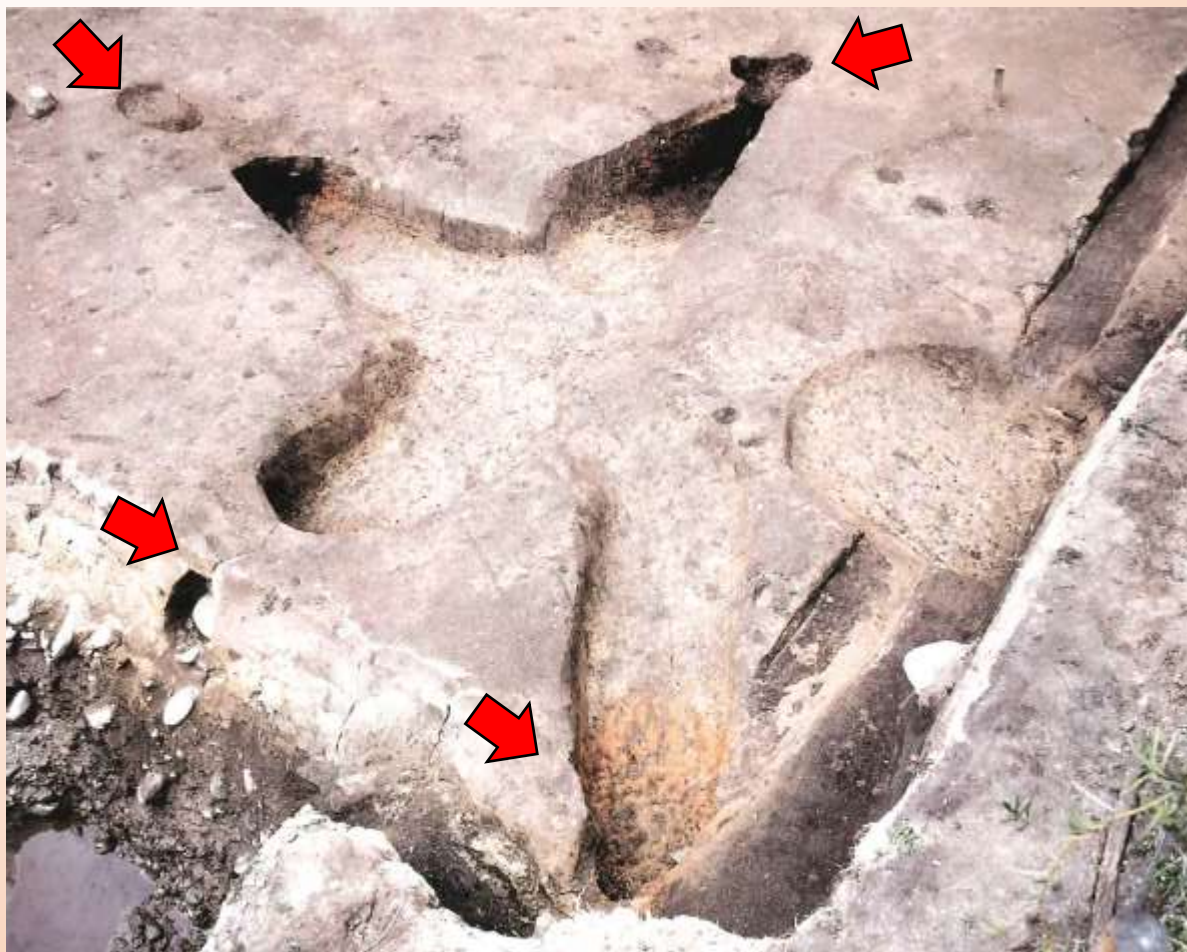


炉穴（ろあな）
早期の遺跡で確認されています。煙道付炉穴（えんどうつきろあな）とも呼ばれていました。燻製施設ともいわれていますが、確かではありません。

三重県埋蔵文化財センター1998『鴻ノ木遺跡（下層編）』から引用

松阪市鴻ノ木遺跡の炉穴

2 炉穴や石でつくられた炉の使われ方は？-2

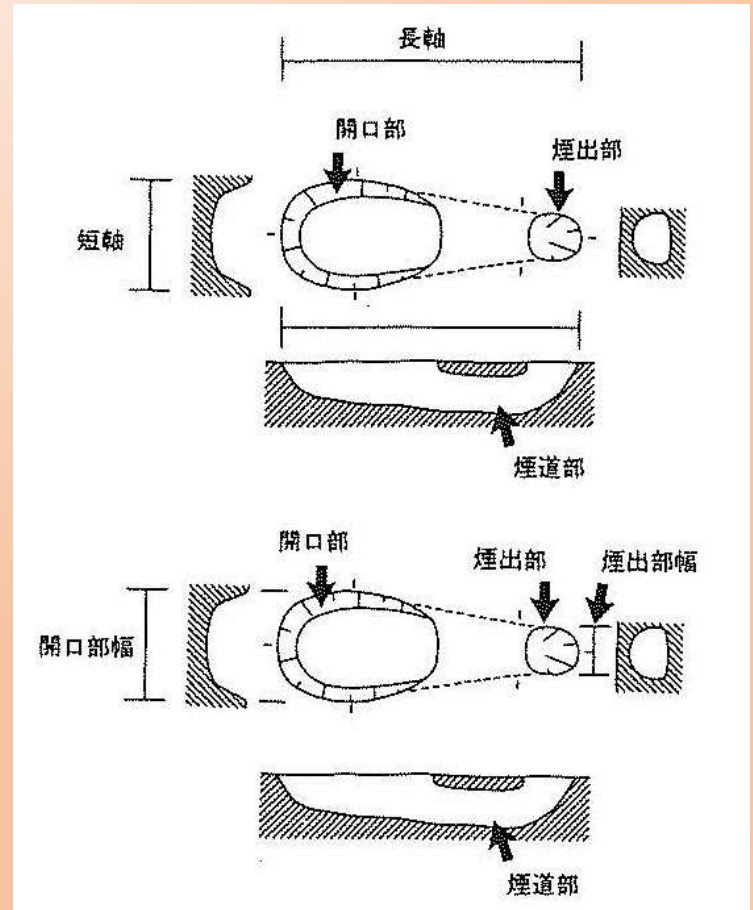


三重県埋蔵文化財センター1998『鴻ノ木遺跡
(下層編)』から引用

松阪市鴻ノ木遺跡の炉穴

2 炉穴や石でつくられた炉の使われ方は？-3

炉穴は右の図にあるような形をしています。トンネル状のものということになります。わざわざ、縄文人はトンネル状にしたということです。



小濱学2007「炉穴の機能」『縄文時代の考古学5 なりわい』から引用

2 炉穴や石でつくられた炉の使われ方は？-4

炉穴は本当に燻製施設なののでしょうか。一つの機能だけのものを縄文人はつくったのでしょうか。静岡県中通遺跡の事例からも、燻製だけでなく、煮る、焼くにも使われていたと考えるのが自然ではないのでしょうか。トンネル状にすることで、火がつき続けることや高い温度をえることができたのでしょうか。

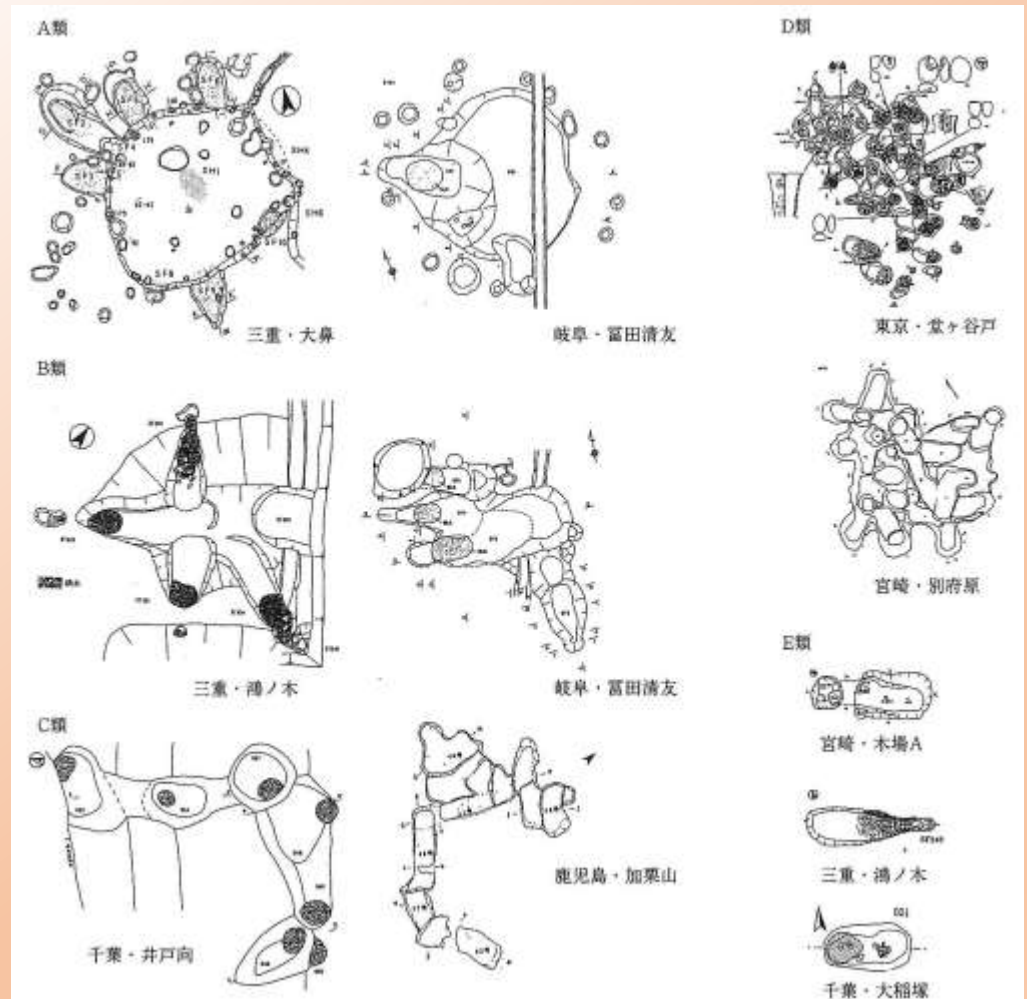
中通遺跡189号炉の煙出部の出土状況

静岡県埋蔵文化財センター他2012『中通遺跡・寺海土遺跡』から引用



2 炉穴や石でつくられた炉の使われ方は？-5

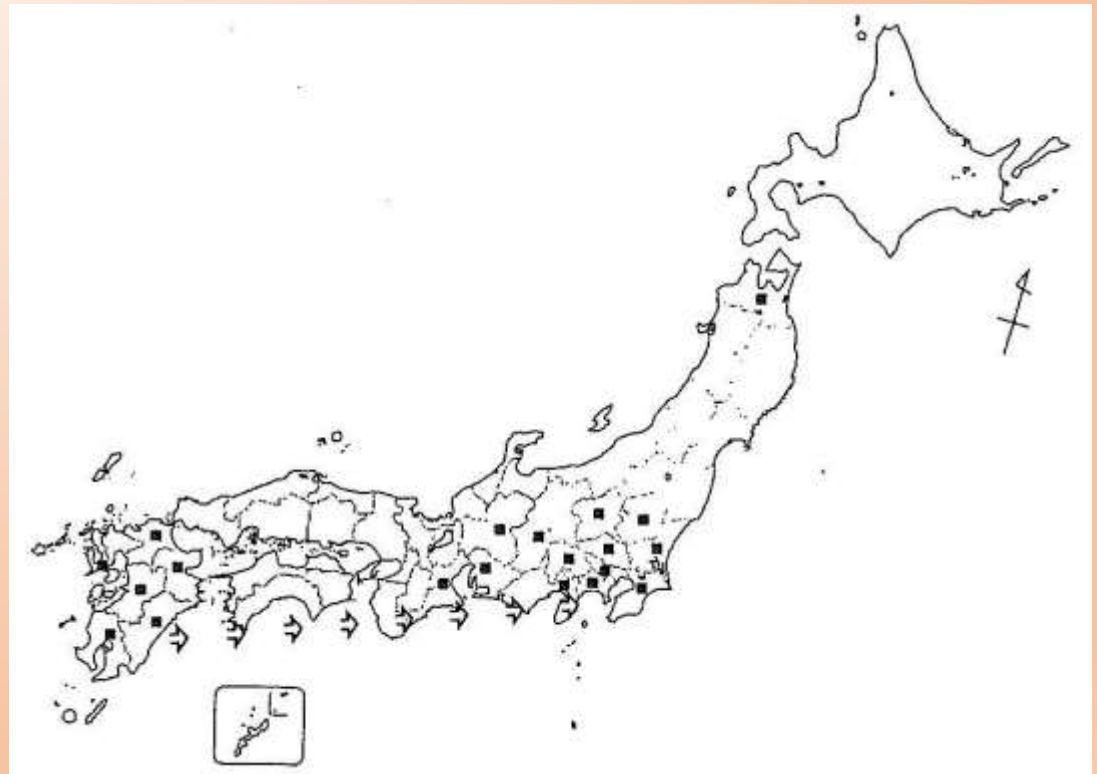
炉穴は他の地域では
どういう状況になっ
ているのかをみてみ
ましょう。九州、東
海、中部、関東の各
地域で確認されてい
ます。関東は時期が
早期後半のものとな
ります。これ以外は、
早期前半となります。



小濱学2007「炉穴の機能」『縄文時代の考古学5 なりわい』から引用

2 炉穴や石でつくられた炉の使われ方は？-6

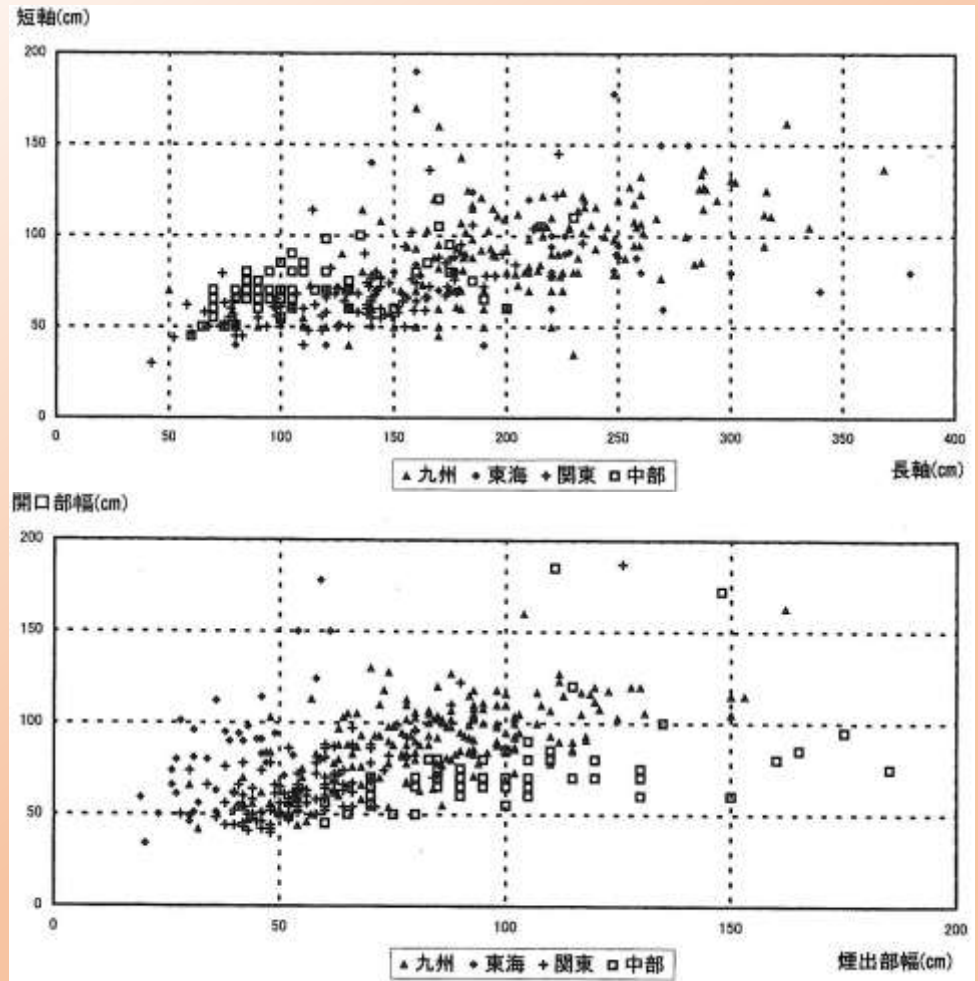
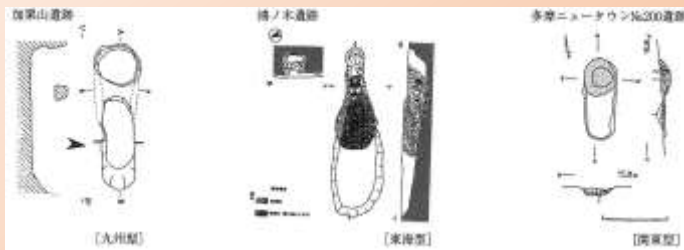
炉穴は、各地域の発掘調査で確認された成果をふまえると、九州から関東にむけて、各地域で少しずつ時期が新しくなっていると考えられます。



小濱学2007「炉穴の機能」『縄文時代の考古学5 なりわい』から引用

2 炉穴や石でつくられた炉の使われ方は？-7

炉穴は、各地域の発掘調査で確認された成果をふまえると、九州から関東の各地域で形に特徴がわかってきました。



小濱学2007「炉穴の機能」『縄文時代の考古学5 なりわい』から引用

2 炉穴や石でつくられた炉の使われ方は？-8

縄文時代早期では、炉穴だけでなく集石炉（しゅうせきろ）と呼ばれるものもあります。「蒸す」機能があったのではと考えられているものです。



S Z 262 (北西から)



S Z 262 半割状況 (北西から)



S Z 263 (北西から)

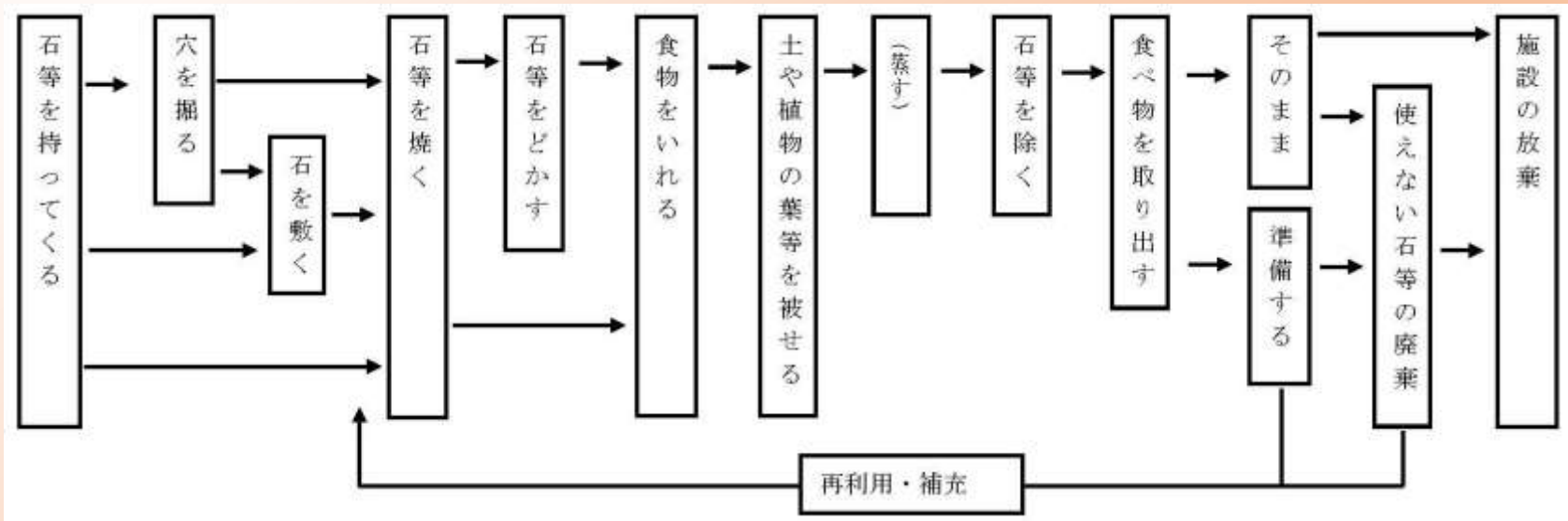


S Z 263 (南西から)

三重県埋蔵文化財センター1998『鴻ノ木遺跡（下層編）』から引用

2 炉穴や石でつくられた炉の使われ方は？-9

集石炉は、どのようにつくられていったのでしょうか。その工程を考えてみましょう。穴を掘ったり、石を焼いたりどかしたり、食物を入れたりと取り出したりといった活動が必要といえます。



小濱学2004「集石炉研究序章」『齋宮歴史博物館 研究紀要十三』、第11図をもとに改変

2 炉穴や石でつくられた炉の使われ方は？-11

炉穴を確認した遺跡では、集石炉が確認されることが多いです。炉穴、集石炉だけを考えるのではなく、周辺遺跡の状況もふまえて評価していくことが重要といえます。



小濱学2004「集石炉研究序章」『齋宮歴史博物館 研究紀要十三』から引用

2 炉穴や石でつくられた炉の使われ方は？-12

現代人からみて

縄文人が、炉穴や集石炉を考え出したのには、何らかの理由があったはずで、当時の自然環境にあわせる等といった戦略があったのでしょうか。

縄文人が、炉穴や集石炉を作るにはけっこうな時間がかかったといえます。

参考

工事では、1日あたり1人で4m³の掘削を見込む。現代のスコップがない縄文時代では、1日あたり1人で1m³程度ではないか。鴻ノ木遺跡の炉穴を作るにあたっては、半日から1日はかかったのではないか。

3 生活に必要なものを得るには？-1

岡山県津雲貝塚で確認された縄文人の人骨からの新たな発見に驚きました。京都大学等から「人骨に残された傷がサメによるものと特定」と発表がありました。

津雲貝塚 岡山県笠岡市西大島所在

<https://bunka.nii.ac.jp/heritages/detail/211080>

京都大学が大正年間に発掘調査を行いました。その内容は『備中津雲貝塚発掘調査報告等』（1920, 京都帝国大学）によって報告されています。

3 生活に必要なものを得るには？-2

対象となる津雲貝塚の人骨の状況は、

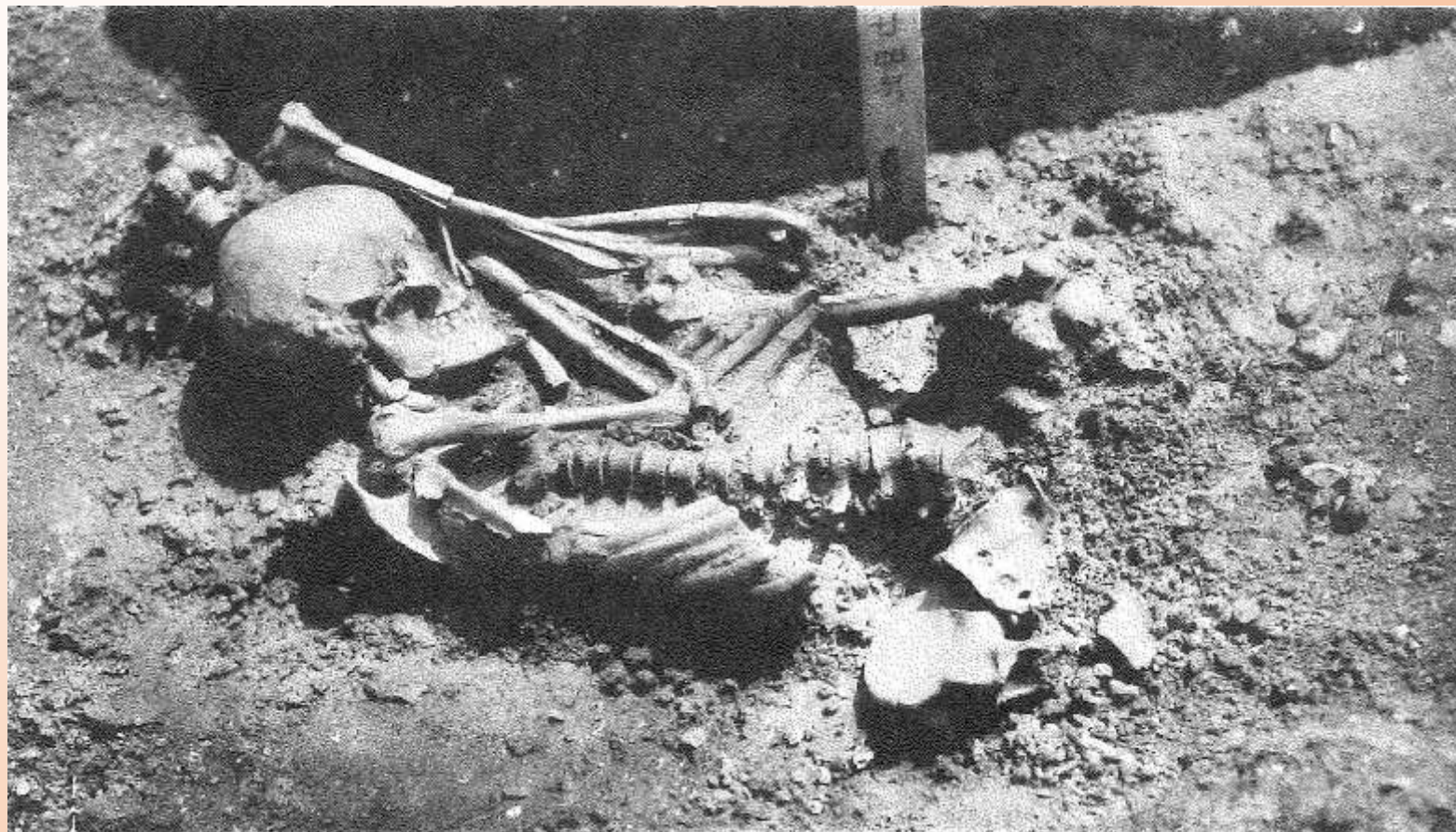
死亡時期は年代測定により約3,000年前と考えられています。

全身で少なくとも790ヶ所の傷痕が残っていました。

右足が残っていませんでした。

3 生活に必要なものを得るには？-3

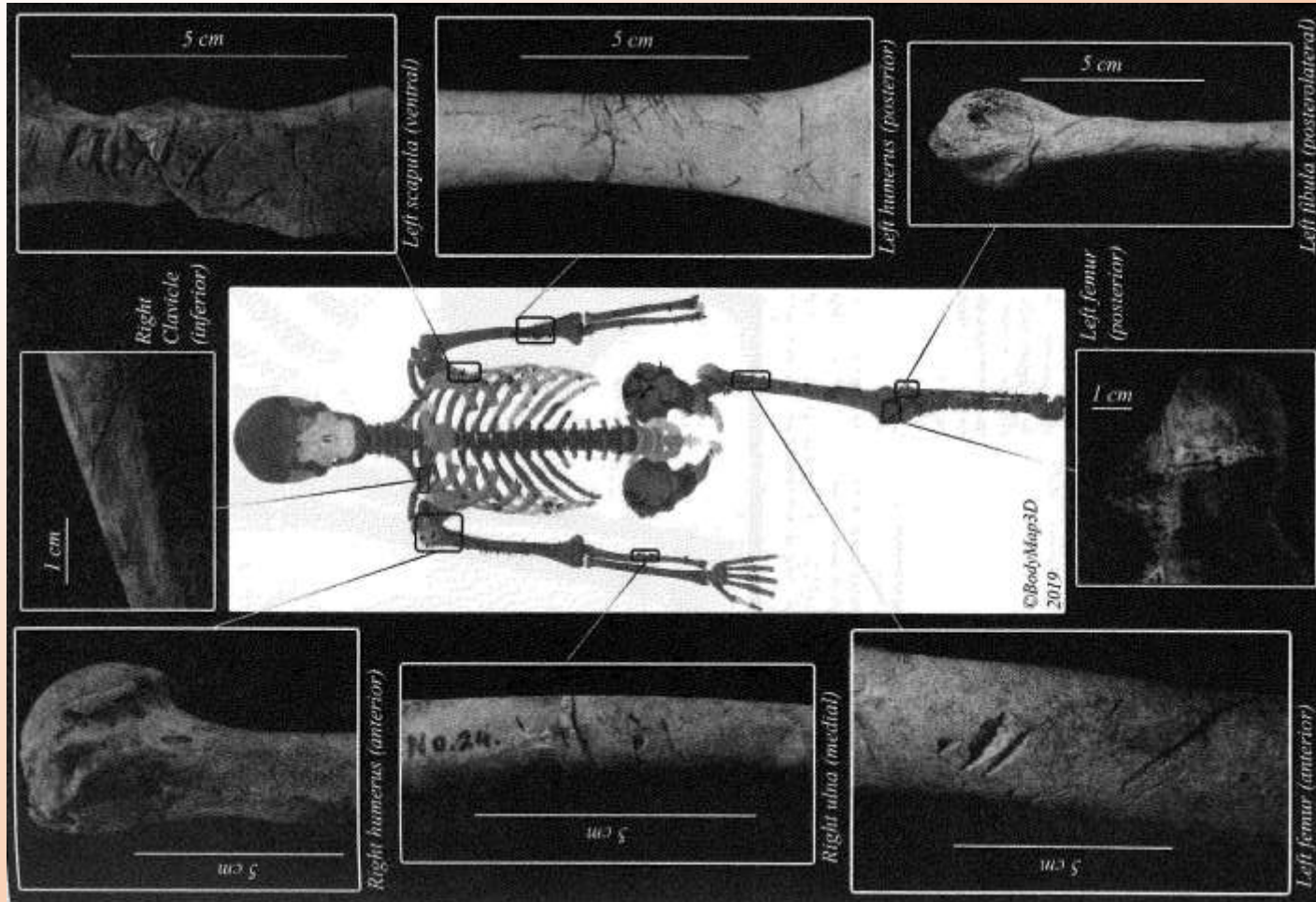
対象となる津雲貝塚の人骨の写真



山田康弘2022「岡山県津雲貝塚から出土したサメ被害」『縄文時代33』から引用

3 生活に必要なものを得るには？-4

対象となる津雲貝塚の人骨の損傷状況



山田康弘2022「岡山県津雲貝塚から出土したサメ被害」『縄文時代33』から引用

3 生活に必要なものを得るには？-5

岡山県津雲貝塚の人骨の状況から、残された傷痕がサメの歯によるものであることや習性とも合うため、サメへの襲撃により死んだと結論づけられました。

これまでの発掘調査の成果からは、肉食動物による被害による死因が特定されたものはないとのことでした。

食料（サメ等）を得るため、海に出てシャークアタックをうけてしまったといえます。当時、サメだけではなく、クマ、オオカミ、ヘビ等もいましたので、多くの縄文人が被害を受けていたことは否定できません。

3 生活に必要なものを得るには？-6

現代人からみて

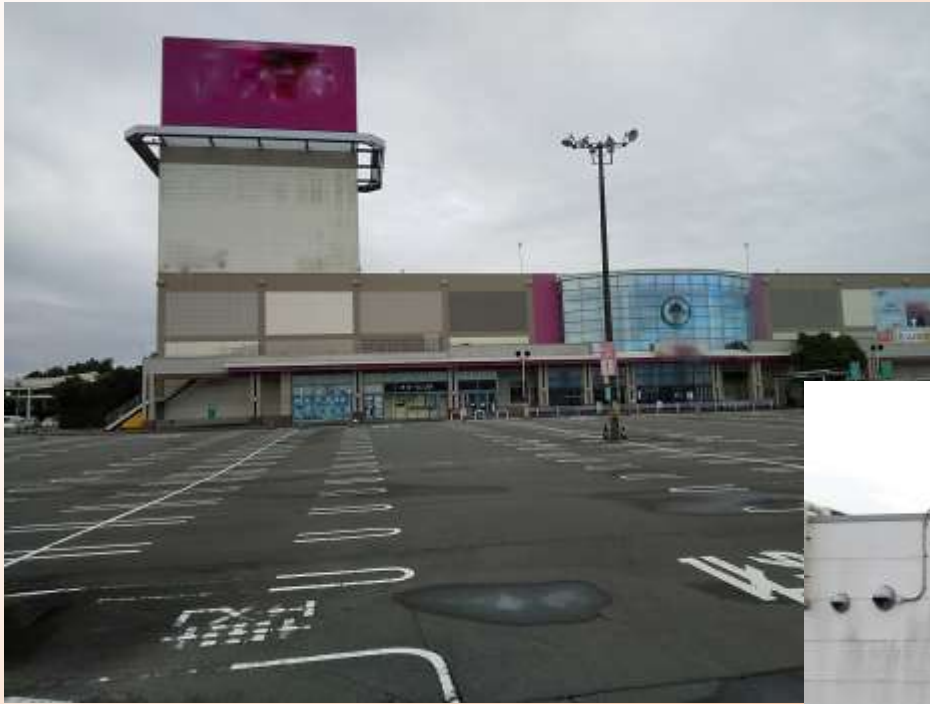
現代の私たちからすれば、縄文人は生活に必要なものを得るのに、時間もかかり、しんどくて、けっこう命がけの時もあるようにみえます。

現代人よりも、縄文人の方が、生活に関する技術が高かったといえます。

縄文人の利用場所



現代人の利用場所



スーパーマーケット

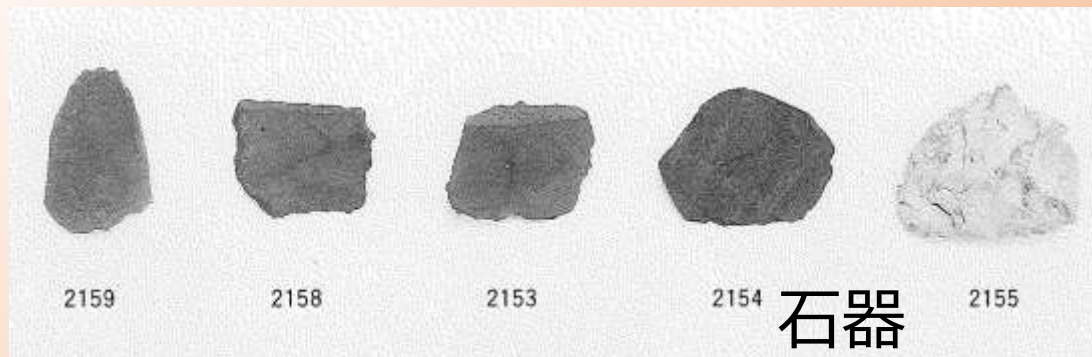


コンビニエンスストア

縄文人の道具や施設



土器



石器

三重県埋蔵文化財センター1998『鴻ノ木遺跡
(下層編)』から引用

炉穴



現代の道具や施設



本日のふりかえり

縄文人は、現代人ほど寿命（30歳程度）も長くはありませんでした。当時の人々が精いっぱい生きた証が、炉穴であり、土器であり、石器であり、遺跡であるのです。

その営みの積み重ねにより、各地域で歴史や文化が結果的に作られてきたといえます。